

# INTERTECH

## 製品安全データシート (MSDS)

会 社： インターテック株式会社  
住 所： 〒123-0873 東京都足立区扇 2-23-1  
電 話 番 号： 03-5837-5550  
FAX 番 号： 03-5837-5551  
緊急連絡先： 同上

整理番号 05042501

改訂 2005年4月25日

|          |                                 |  |
|----------|---------------------------------|--|
| 製品名      | エコアミド                           |  |
| グレード名    | 66G33 全着色品                      |  |
| 物質の特定    | 単一製品・混合物の区別 : 混合物               |  |
| 化学名      | : ポリアミド<br>ガラス繊維(アルミナホウ珪酸ガラス)   |  |
| 化学式又は構造式 | : 1. ポリアミド 66<br>2. アルミナホウ珪酸ガラス |  |

|          | 1          | 2          |
|----------|------------|------------|
| 化 学 名    | ポリアミド      | ガラス繊維      |
| 含 有 量    | 67±2%      | 33±2%      |
| 官報公示 化審法 | (7) -382   | 該当しない      |
| 整理番号 安衛法 | (7) -382   | 該当しない      |
| CAS No.  | 32131-17-2 | 65997-17-3 |

### 危険有害性の分類

分類の名称 : 分類基準に該当しない。

### 応急措置

目に入った場合 :

溶融物の場合は、直ちに清浄な水で15分間以上冷やすと同時に洗浄し、コンタクトレンズをしていれば外し、医師の診断を受けてください。

通常の場合は、直ちに清浄な水で洗浄し、異常があれば医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合 :

溶融物の場合は、直ちに清浄な水で15分以上冷やす。皮膚上の固まった樹脂を無理に剥がさない。火傷があれば医師の診断を受けて下さい。

吸入した場合：

溶融物から発生するガスを吸って気分が悪くなった場合には、直ちに新鮮な空気の場所に移し、回復をしない時は医師の診断を受けて下さい。

飲み込んだ場合：

危険な物質ではないが、出来るだけ吐き出し、異常を感じるのであれば医師の診断を受けて下さい。

---

#### 火災時の措置

消化方法： 水をかけて消化するのが有効である。

尚、火災時には、有害ガス（一酸化炭素及び微量な HCN, NH<sub>3</sub> 等）を発生する恐れがあるので、屋上から、又は、空気呼吸器を付けて消火作業をする。

消 化 剤： 水、泡沫消化剤（エアフォーム）、粉末消化剤

---

#### 漏出時の措置

掃き取り、回収又は廃棄する。

ペレット、粉末は床上、地面に残ると滑る危険性が高いので、こまめに処理する。排水系などに漏出した場合は、鳥類、魚類等への悪影響があるので全量回収する。

---

#### 取り扱い及び保管上の注意

取 扱 い：

- (1) ペレット状の樹脂は、常温で引火、爆発の恐れはないが、作業場では、火気をみだりに使用しない。
- (2) 加工時は、有害なガス（一酸化炭素及び微量な HCN, NH<sub>3</sub> 等）を発生する恐れがあるので、ガスを吸収しない様にする。
- (3) 又、火傷の恐れがあるので、高温の樹脂には直接触れないようにする。
- (4) 樹脂が熱分解を起こすので、長時間高温状態で滞留させない。

保 管：

熱、発火源から離れた場所で保管する。

---

#### 暴露防止及び保護措置

管理濃度： 設定されていない

許容濃度： 日本産業衛生学会、ACGIH 共に、設定されていない。しかし、ポリアミドの粉塵に対しては、次の値を採用するのが妥当と考える。

日本産業衛生学会勧告値（1998 年版）第 3 種粉塵

時間荷重平均値

吸入性粉塵 2 mg/m<sup>3</sup>

総粉塵 8

ACGIH 勧告値 (1998 年版) 一般粉塵

総粉塵 10 mg/m<sup>3</sup>

設備対策 : 粉塵を発生する場合や、高温で加工を行う時、樹脂の分解により有害なガスが発生する場合には、適切な局所廃棄設備の設置が必要である。

保護具 : 呼吸用保護具 : 防塵マスクを着用して下さい。  
保護眼鏡 : 適切な局所排気を実施されている場合、通常の作業では、眼鏡型保護眼鏡を着用する。  
成形機の清掃、ダクトの清掃等、蒸気・ガスを吸引する恐れのある作業時には、適切な局所排気を実施するとともに防毒マスク (有機ガス用) 産業用ゴーグル型保護眼鏡を着用する。

保護手袋 : 熔融樹脂を取り扱う際は、革手袋を着用する。

保護衣 : 熔融した樹脂を取り扱う際には、火傷防止のため、長袖の衣服を着用して下さい。

---

物理/化学的性質

外観等 : ペレット状

融点 : 250～260℃

比重 : 1.38

溶解度 : 水に不溶

---

危険性情報 (安定性・反応性)

発火点 : 400℃以上

可燃性 : あり 但し、酸素指数 26 以上、難燃性である。2)

発火性 : なし (自然発火性、水との反応性) : なし

酸化性 : なし

水との反応性 : なし

自己反応性 : なし

粉塵爆発性 : なし

安定性・反応性 : 常温・常圧で安定

---

#### 有害性情報（人についての症例、疫学的情報を含む）

コメント：エコアミド 66G33 としてのデータはないが、構成成分のデータを参考までに示す。

- 皮膚腐食性 : ナイロン樹脂には、皮膚腐食性・刺激性はない
- 刺激性 : ガラス繊維：繊維の粉末が眼、皮膚を刺激することがある。
- 亜急性毒性 : ナイロン樹脂に関して、30～40 匹の成長期の雌雄のラットに、10%の微粉末状のポリ ε カプロラクタムアミドを含ませた粥状飼料を 8 週間自由摂取させたが、中毒症状を示さなかった。3)
- 生殖毒性 : ナイロン樹脂に関して、30～40 匹の成長期の雌雄のラットに、10%の微粉末状のポリ ε カプロラクタムアミドを含ませた粥状飼料を 8 週間自由摂取させたが、繁殖機能は正常で対照動物との間に差はみとめられなかった。3)
- その他 : 「ガラス繊維、ロックウール及びそれらを含有する製品の取り扱い」については、労働省より指針が出されている。  
しかし、ガラス繊維強化ナイロンの取り扱いについては、指針の対象となる作業に含まれていない。4)

---

#### 環境影響情報

既知見なし。

- その他 : 海洋生物や鳥類が摂取することを防止するため、いかなる海洋や水域でも投棄、放出してはならない。

---

#### 廃棄上の注意

埋め立てるときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従い公認の産業廃棄物処理業者若しくは、地方公共団体がその処理を行っている場合には、その団体に委託して処理をする。

焼却する時は、焼却設備を用いて、大気汚染防止法等の諸法令に適合した処理を施して焼却する。5)

---

#### 輸送上の注意

コメント： 梱包袋がやぶれないように、水漏れや乱暴な取り扱いを避ける。もし破袋してペレットが飛散したときは、滑って転倒しない様に注意する。

- 国連分類 : 国連の定義上危険物に該当しない。
- 国連番号 : 国連の定義上危険物に該当しない。

---

## 適用法令

適用法令なし。

## その他の情報

記載内容の取り扱い：

記載内容は、現時点で入手し得る資料、情報、データに基づいて作成しています。含有量、物理化学的性質、危険、有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の手続きを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、用法、用途に適した十分な安全・環境対策を講じた上でご使用下さい。

記載内容の問い合わせ先：

インターテック株式会社

〒123-0873 東京都足立区扇 2-23-1

電話番号： 03-5837-5550

FAX 番号： 03-5837-5551

引用文献等：

- 1) 「樹脂ペレット樹脂流出防止マニュアル」プラスチック工業連盟
- 2) 「プラ工連ニュース No.48」プラ工連 S54.11.1
- 3) G.Bornmann et.al.,Arzneim,Forshu.,9,9(1959)
- 4) 「ガラス繊維の労働衛生に関する指針マニュアル」ガラス繊維協会 (1995.5)
- 5) 「廃プラ Q&A 」工業用熱可塑性樹脂技術連絡会